



白寿祝状授与

3 / 25

緒方愛子さんが、3月20日に99歳の誕生日を迎え入所先の特別養護老人ホーム静寿園で、富田副町長から祝い状、町社会福祉協議会・川越会長から記念品が贈られました。

緒方さんは赤平市出身で、昭和10年に旭川市で結婚し、2男2女に恵まれました。80歳まで和裁や作法、お花の教室を開き、多くの生徒の指導に当たりました。この日は、子どもや孫、ひ孫がお祝いに駆けつけ、白寿を祝いました。



レキシントン市友好親善訪問団派遣 3/24~4/2

今年、姉妹都市提携25周年を迎える米国レキシントン市を、友好親善訪問団(柴田隆団長ほか11名)が訪れ、学校訪問や市内の施設見学、市長への表敬訪問のほか、ホームステイなどを通して異国文化を学び、同市の方々との交流を深めました。

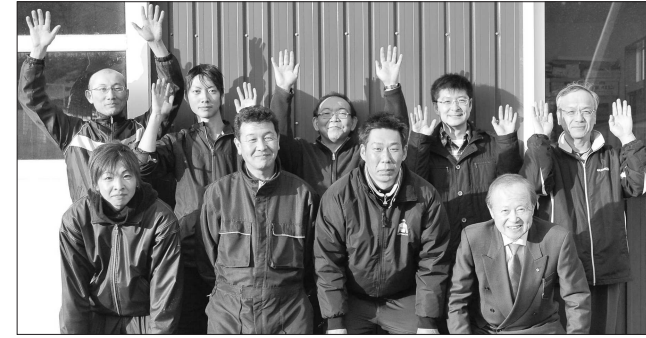
帰国した団員は「ホストファミリーやレキシントン市の方々に親切にしてもらい、交流を深めることができた」「文化や生活の違いを肌で感じ、毎日が新鮮で楽しかった」などと話していました。



春の町民安全大会

4 / 10

『交通事故死ゼロを目指す日』春の町民安全大会が町福祉センターで開かれ、交通安全団体や小学生など町民約260人が参加し、痛ましい交通死亡事故の撲滅を誓いました。



第43回高松宮記念制覇

3 / 24

春の短距離王決定戦『第43回高松宮記念』(G I・芝1200メートル)が愛知県の中京競馬場で行われ、ケアイファーム(三石川上)生産馬のロードカナロア号が優勝を果たしました。

ロードカナロア号は、最後の直線を割って抜け出し、1分8秒1のコースレコードタイムで快勝。史上初のスプリントG I 3勝を果たしました。

レース後、同牧場には続々と関係者が訪れ、喜びと祝福の声であふれていました。



新ひだか町特別感謝状贈呈 3 / 24

町は、3月21日に亡くなられた静内清水丘の野呂順子さん(享年71歳)に特別感謝状を贈りました。

野呂さんは、平成16年から町女性団体連絡協議会長、平成19年から町防犯協会副会長、新ひだか観光協会理事をはじめ、町社会教育委員、町営住宅選考委員会委員、青少年問題協議会委員など多くの公職を歴任。多年にわたり、各団体・組織の幹部として、まちづくりや地域課題の解決に努め、多方面で町の振興発展に尽力されました。



消費者協会料理教室

3 / 28

町消費者協会会員による「料理教室」が静内保健福祉センターで開かれ、おひな様寿司や揚げたらとなばなのあんかけ、うしお汁など5品を作りました。

完成品



津波防災講演会

4 / 13

『津波防災講演会』が町公民館で開かれ、約350人が参加しました。

東日本大震災で大津波の被害にあった岩手県釜石市で、平成16年から津波防災教育に取り組んでいる、片山敏孝・群馬大学教授が講師を務め、大津波を生き抜いた子どもたちの「津波避難に対する姿勢」などを紹介。片山教授は「災害で人を死なせてはならない。想定にとらわれず、最善を尽くし、自分が率先して避難する。家庭・学校・地域で津波防災教育に取り組んでほしい」と話しました。



総合町民センター提言書提出 3 / 22

三石地区に建設を予定している「(仮称)新ひだか町総合町民センター」の建設検討委員会(幌村司委員長・委員14名)は、同センターの基本構想・計画案などをまとめ、町に提出しました。

同委員会は、老朽化した町福祉センターの建て替えに伴い、昨年7月から全8回の委員会を開き、建設地や規模、施設内容など協議を重ねてきました。

町では、この提言内容を基に具体的な建設計画をまとめます。



二金の市~しずないマルシェ~

4 / 12

新鮮な魚介類や野菜などを手ごろな価格で販売する「二金の市~しずないマルシェ~」(御幸通り商店街主催)がピュアで開かれ、多くの買い物客で賑わいました。



A i b a 静内移転オープン

3 / 18

ホッカイドウ競馬の場外馬券発売所「A i b a 静内」(静内木場町2)が、旧施設の隣接地にある建物に移転オープンし、多くの競馬ファンが訪れました。